



(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会

2024年4月1日

神奈川支部

# 支部ニュース

〒231-0026 横浜市中区寿町1-4

神奈川労働プラザ7F

Tel・Fax 045-633-3618

日本労働安全衛生コンサルタント会は、  
労働者の安全衛生水準の向上に寄与することを目的にしています。

発行責任者  
吉久 功三

|    |                        |                             |              |                 |
|----|------------------------|-----------------------------|--------------|-----------------|
| 目次 | ○ 支部長挨拶 P1             | ○ 事業部会報告 P2-P3              | ○ 総務委員会報告 P4 | ○ 研修委員会報告 P5-P6 |
|    | ○ 事業部新入部員及び新事務局長の紹介 P7 | ○ 支部会員の書籍紹介, 支部近隣散歩 6 景他 P8 |              |                 |

## 【吉久支部長挨拶】



日頃は神奈川支部の活動にご協力をいただき、大変ありがとうございます。2020年6月の支部総会で支部長に就任して以来、ほぼコロナ感染症に付き合ってきた感があります。政府が昨年5月8日に、新型コロナウイルス感染症を、第2類から第5類に移行して以来、世の中の動きもコロナ禍前に近い活動になって来ており、飲食店や旅行業界も、やっと賑わいを取り戻してきました。

支部活動も就任してからの最初の2年間は大幅に制約されており、会員の皆様とのコミュニケーションを図る場がありませんでした。この結果として支部活動が停滞して支部財政を食いつぶすおそれがありました。皆様のご協力により、逆に特別部費を積み上げることができ、コロナ禍前に比べ繰越金を増やすことができました。

昨年度は、支部総会を始め、役員会や研修会をほぼコロナ禍前に戻しての活動ができ、研修会が終わった後の情報交換会には大勢の方にご参加いただきました。特に、最近事業部会に入った方の参加もあり、活気に満ちた情報交換会となっています。この会員の皆様の熱気を是非支部活動に反映させて行きたいと思っております。

令和6年度は、神奈川支部も設立50周年を迎えますので、記念行事に向けて今年度はしっかりと、

準備して対応して行きたいと思っております。

神奈川支部も他の支部と同様、会員の高齢化が進んでいます。特に支部運営の中心を担う事業部会メンバーの半数が75歳以上となっており、若返りが急務となっています。ここ数年は企業の定年延長等に伴って65歳まで会社に残る人が殆どとなっています。65歳で会社を辞めた後、本格的にコンサルタント活動をしようとしてもすぐに仕事ができる訳ではないので、支部会員になっておられる方には60歳前後で事業部会に入っただいて先輩から指導を受け、辞めた後にすぐに本格的な活動ができるよう働きかけて行きたいと思っております。

昨年4月からは、第14次労働災害防止計画(第14次防)がスタートしました。昨年の労働災害の発生状況を見ると死亡災害は減少していますが、休業4日以上死傷災害の発生には歯止めが掛かっていません。事故の型別の発生状況を見ると「転倒と動作の反動・無理な動作」という人間の行動に起因する事故が相変わらず多くなっています。厚生労働省は、2027年までには死傷災害の発生に歯止めを掛けることを掲げていますが、このままでは達成が難しい状況です。第14次防の中では、重点事項ごとの具体的取り組みとして、自発的安全衛生対策に取り組むための意識啓発として、労働安全衛生コンサルタントの活動が謳われています。我々コンサルタントは、労働安全衛生の専門家として労働災害を減らすために、まだまだやるべきことがあると思っております。

また、労働安全衛生法の政省令が改正されたことにより、令和6年4月からは、化学物質管理の適用が大きく変わります。これに対応するために化学物質の専門家である労働衛生コンサルタント(衛生工学)や労働安全コンサルタント(化学)の活動が、

大いに期待されています。

コンサルタントとしてのスキルアップを図り、このような世の中の要望に応えるべく、活動をして行こうではありませんか。

## 【事業部会報告】

副支部長・事業部会長

藤原 政志

令和5年度の事業部会の活動状況を報告します。

### 《事業部会部会員》

事業部会部会員は、令和6年3月3日現在、昨年12月に労働安全コンサルタント1名の入会があり、労働安全コンサルタント36名、労働衛生コンサルタント14名、共有3名の総勢47名で活動しています。

### 《事業活動の内容》

#### (1) 公募案件の主な業種と公募件数

事業活動について、過去3年間の一般公募件数は、令和3年度23件、令和4年度25件、今年度3月3日時点で24件とほぼ例年並みとなっています。公募件数24件のうち、契約は19件です。

令和5年度の公募内容を業種別に「表-1」に示しています。

#### (2) 指名公募

「表-1」に示した以外で「指名公募」という名称で管理している業務もあります。令和5年度は、3月3日まで2件ありました。その主な内容は次の通りです。

① 構造物において建築基準法及び労働安全衛生法への適合性に関する相談でした。本件に関しては、相談内容と同様の構造物の設計、製造を経験したコンサルタントに依頼しました。

② 製造業からKYTTトレーナーを養成してほしいとの相談でした。通常ですと希望する内容、教

育の実施時期、予算等を確認して公募するのですが、希望している実施時期に時間的な余裕がないことと、相談者が確保している予算の条件が良かったので、講師の資格要件に適した数名に対応を依頼しました。

2件の「指名公募」ともに顧客の要求に応え、満足して頂きました。

#### (3) 検討中の内容

現在相談を受けていますが、公募には至っていない案件も3件あり、主な内容は次の通りです。

① 電気機械器具の製造会社で労働災害が発生しているが、事故の原因分析、改善対策が進んでいない。また、リスクアセスメントを行っているが、リスクアセスメントは、様式に従い入力するのみになっている。これらを改善したいと考えており、相談を受けています。

② 空調機関係の製造会社で、低圧電気取扱業務特別教育を検討している。その実施方法や講習費用に関する問い合わせが来ています。

③ エレベーター関係会社では、中期的な事業計画に基づきISO45001のシステムの導入を検討しており、システム構築の方法、外部認証機関の審査に関する情報を収集している段階です。

上記の3点に関して、当支部では対応可能なコンサルタントがおり、十分な成果を期待できることを伝えております。

### 《事業活動の内容》

近年コンサルタント会に寄せられる相談、業務依頼は多岐に渡りそれぞれが専門的になってきています。以前は、年度の開始時期、全国安全週間、

全国労働衛生週間等の際、安全衛生に対する意識高揚を目的とした講演会依頼が、毎年数件ありましたが、令和5年度はまだありませんでした。

労働安全及び労働衛生コンサルタントは、本部（一般社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会）の生涯研修制度を活用する等して、常に自己研鑽することが求められています。

令和5年度を振り返ってみますと、昨年度は、化学物質の自律管理、石綿に関する事前調査、テーブルゲートリフター等に関する法令対応が事業者

に要求されています。これらについても事業部会として、営業活動に繋がられるようにしたいと考えておりましたが、化学物質の自律管理以外は、業務に繋がっていません。

令和6年度は、化学物質の自律管理（労働安全衛生規則等の一部を改正する省令〔令和4年厚生労働省令第91号〕）活動を重点的に、相談者から寄せられた内容に真摯に向き合い、業務に繋がりたいと考えております。そして、事業収入の予算達成を目指しています。

「表-1」

| NO | 業種等         | 主な業務内容            | 公募件数 | 契約    |
|----|-------------|-------------------|------|-------|
| 1  | ディスプレイ製造    | 研究者に対する安全衛生教育     | 13   | 10    |
|    | ゴムシート等製造    | 局所排気装置設置等環境改善     |      |       |
|    | 自動車製造       | 自動車製造職場の安全衛生診断    |      |       |
|    |             | 新任の職長に対する教育       |      |       |
|    | ドラム缶製造      | 塗装職場の職場環境改善       |      |       |
|    | 工作機械製造      | 職場に安全文化の定着        |      |       |
|    | 機械器具製造      | 安全衛生管理体制の整備       |      |       |
|    | 電気器具製造      | 安全衛生診断と改善提案       |      |       |
| 2  | 行政機関        | 受動喫煙防止に関する提案      | 4    | 4     |
|    |             | 公務災害防止のための講習会     |      |       |
|    |             | 指導者に対する農作業安全講習会   |      |       |
| 3  | ISO 認証機関    | 化学物質管理者養成講習       | 1    | 1     |
| 4  | 運送業、倉庫業     | 実務作業者の作業確認        | 1    | 1     |
| 5  | クリーニング業     | 安全衛生診断と職場のルールへの定着 | 1    | 1     |
| 6  | 建設業労働災害防止協会 | コスモス評価者養成講習       | 1    | 応募者なし |
| 7  | 研修機関        | 化学物質管理者養成講習等      | 1    | 1     |
| 8  | 建設業         | 危険物に関する初歩的な教育     | 1    | 応募者なし |
| 9  | コンサルタント業    | 化学物質改正省令の説明、改善提案  | 1    | 1     |
| 合計 |             |                   | 24   | 19    |

## 【総務委員会報告】

副支部長・総務委員長  
赤松 由通

総務委員会での主たる業務である「定例会開催」は、対面・オンライン併用で行いました。

総務委員会関係の主な業務活動状況、以下のとおりです。

① オンライン方式併用による定例会議の開催

定例会議は、Zoom によるオンライン方式併用の会議方式で開催しました。

なお、令和6年4月13日の定例会議、6月14日の支部総会は、年間計画に従い開催する予定です。(下表参照)

② 支部会員数

支部会員数は2月末で179名、事業部会会員数は47名(安全36名、衛生14名、共有3名)となっています。

9月30日(土):支部加入者へのガイダンスを実施。13名の方が参加しました。

10月18日(土):新入事業部会員へのガイダンスを実施。1名の方が参加しました。

③ 支部ホームページ(HP)運用管理

神奈川支部 HP は、引き続き HP 委員を中心に日々情報提供の適宜な更新に努め、活きた情報提供サイトを目指し運営しています。

④ 事務所 IT 環境整備

事務局情報のクラウド化による新たな業務を進め、リモートワーク稼働と情報バックアップの強化を行いました。

⑤ その他

◆10月27日:千葉支部が幹事支部として南関東ブロック会議が開催されました。神奈川支部からは5名が出席しました。

◆2月7日:神奈川労働局との第2回業務連絡会

『第14次労働災害防止計画等』、神奈川労働局管内の労働災害の現状等についての情報交換会を実施しました。

(労働局労働基準部安全課、健康課主任専門官  
支部出席者:支部長、3副支部長、書記担当)

## 《令和5年度 常任幹事会・幹事会・研修会等》

| 開催年月日        | 総会、常任幹事会、幹事会    | 研 修 会    |
|--------------|-----------------|----------|
| 令和5年7月8日(土)  | 第1回幹事会          |          |
| 7月22日(土)     | 第1回幹事会          |          |
| 9月2日(土)      | 第2回常任幹事会、第2回幹事会 | 第1回支部研修会 |
| 10月14日(土)    | 第3回常任幹事会        | 第2回支部研修会 |
| 12月2日(土)     | 第4回常任幹事会        | 第3回支部研修会 |
| 令和6年1月13日(土) | 第5回常任幹事会、第3回幹事会 | 第4回支部研修会 |
| 3月9日(土)      | 第6回常任幹事会        | 第5回支部研修会 |
| 4月13日(土)     | 第7回常任幹事会、第4回幹事会 | 第6回支部研修会 |
| 6月14日(金)     | 令和6年度 支部定期総会    |          |

### 【連絡事項】

鈴木潔事務局長が体調不調のため2月末で退職され、3月からは、森和子氏が就任されました。支部事務所への出勤は、原則として、火曜日、水曜日、木曜日です。支部の事務作業に慣れるまで多少時間がかかると思われませんが、会員皆様の御協力をお願いいたします。(P-7に就任の挨拶掲載)

## 【研修委員会報告】

副支部長・研修委員長  
竹内 春樹

令和5年度の研修委員会の主たる活動について報告いたします。

### ① 支部研修会

支部活動の中での中核的活動である支部研修会ですが、令和5年度は5月に新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行されたこともあり、支部会員を対象にコロナ禍前の年間6回とし、土曜日午後を実施しました。(令和4年度は、年間5回実施) 但し、開催方式は令和4年度と同様に「かながわ労働プラザ」での対面及びオンラインの併用方式で行いました。また、昨年度の研修会では、第14次労働災害防止計画の初年度であったことや法令改正が多くあったことから、これらに関するテーマを多く取り上げました。これらに対する高い関心もあってか、研修会参加者は40名を超える時もあり、毎回多くの質問が出る等活況を呈しておりました。

研修会参加者にはオンラインでの参加者も含め、研修会終了後アンケートへの回答をお願いしておりますが、研修会のテーマ(講義内容)では、毎回「非常に参考になった」が85%程度、「参考になった」が15%程度でその他評価の回答がなかったことから、非常に好評であったと判断されます。今後の取り上げて欲しいテーマ等については、講演テーマの続編をお願いしたいというもの(特に「コンサル業務に役立つIT」、「新たな化学物質管理についての対応」)が多くありました。そこで、令和6年度にもこれら続編要望が多かったテーマの講演を企画したいと考えています。

また、研修会実施後の情報交換会も、当日の講師を交え実施し、毎回20名以上が参加されるという近年にない盛況ぶりで非常に有意義なものとなりました。

### ② 新入支部会員への支部ガイダンス

令和5年度は入会者が16名おり、9月にその新入部員向けに支部及び事業部の活動状況につい

てガイダンスを実施し、支部事業部活動の情報提供を行いました。(当日参加者は12名でした)

### ③ 事業部会の新入部会員研修

令和5年11月に、本年度の新入事業部会会員1名(労働安全コンサルタント1名)に対して、コンサルタント業務に関する研修会を実施しました。

### ④ 施設見学会

新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行後も、企業での多人数の見学受け入れが慎重になっていることから、昨年度に引き続き、今年度も見学会は中止としました。

### ⑤ 研究会

「労働衛生研究会」では、メンバー5名がほぼ毎月1回、オンラインで労働衛生に関するテーマを発表、討議しています。当研究会では、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

また、令和6年度より、化学物質規制が本格的に始まることに伴い、新たに発足した「化局研究会」(化:化学物質、局:局所排気装置の略)は、メンバー7名で1回/月の頻度で研究、企業視察、業者からの説明会等を企画、実施しています。

### 【中野洋一先生から書籍を頂きました】

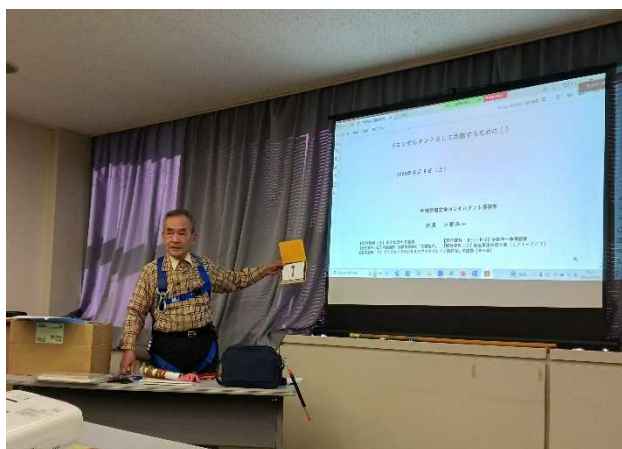
令和6年3月9日(土)に、開催された第5回支部研修会講師の中野洋一先生より、『イラストで学ぶ高所作業の知識とべからず83事例』(改訂第2版:令和6年2月22日出版)を会場参加者全員に配布して戴きました。





「表-2」 令和5年度 支部研修会開催状況

| 回 | 月 日           | テーマ   | 講 師  | 受講者数 |
|---|---------------|---|--|------|
| 1 | 9月2日<br>(土)   | ①コンサル業務に役立つ IT スキル<br>(初～中級編Ⅱ)<br>②産業保健の最新の動向                     | ①内沼創一朗氏 (事業部員)<br>②松陰大学教授<br>藤井 智恵子氏                               | 35名  |
| 2 | 10月14日<br>(土) | ①新入部員の紹介<br>②石綿に関する法規制の歴史&最新<br>情報<br>③転倒対策防止対策                   | ①小林浩氏 (事業部員)<br>②コンサルタント会 (顧問)<br>後藤 博俊氏<br>③(独)労働者健康安全機構<br>柴田 圭氏 | 30名  |
| 3 | 12月2日<br>(土)  | ①新入部員の紹介<br>②新たな化学物質管理に関する情報<br>③第14次労働災害防止計画の具体的<br>進め方          | ①加藤 孝夫氏 (事業部員)<br>②鶴田 光氏 (事業部員)<br>③産業保健総合支援センター<br>副所長 赤前 幸隆氏     | 42名  |
| 4 | 1月13日<br>(土)  | ①新入部員の紹介<br>②建築物等の解体・改修工事に対する<br>石綿対策の規制強化について<br>③送検事例から学ぶ安全衛生管理 | ①矢島 聡氏 (事業部員)<br>②後藤 弘道氏 (事業部員)<br>③元労働基準監督署長<br>齋藤 晃彦氏            | 41名  |
| 5 | 3月9日<br>(土)   | ①新入部員の紹介<br>②コンサルタントとして活動する<br>ために<br>③新たな化学物質管理について              | ①黒川 亮氏 (事業部員)<br>②労働安全コンサルタント<br>中野 洋一氏<br>③産業医科大学 教授<br>宮内 博幸氏    | 45名  |



【写真-1 中野洋一先生の講義の様子】



【写真-2 宮内博幸先生の講義の様子】

## 【事業部会に入会された黒川亮氏の紹介】

【氏名】黒川 亮(くろかわ りょう)

【年齢】65歳

【区分】労働安全コンサルタント(機械)

【専門事項】建設業における社内安全管理体制の構築・着工前事前審査・現地安全パトロール・安全教育講師を担当しています。また、新たな化学物質管理規制に関して、建設業の業界事情に即した自社内ガイドラインを策定中で、所轄の労働基準監督署に助言も頂き、間もなく周知出来る運びとなりました。

【略歴】大手機械メーカ及び関連会社に41年間勤務し、熱交換器・輪転印刷機・橋梁やダム水門・コンテナクレーン・ごみ焼却プラント等の製品の製造から引き渡しに至るまで、技術及び安全管理業務を手掛けてきました。特に、建設業における現地工事の安全管理については、自社の工場内と異なり、パートナー会社間の安全管理にレベルの差が大きく、請負契約での「事業者」に対する気付け指導に注力を傾けてきました。

【事業部会での抱負】コンサルタント会という自身にとって新たな世界で、今までの業務を通じて得た経験・知識・感覚を発揮して、労働安全衛生に微力ながら貢献出来れば、と思っています。

【その他】プライベートでは、鉄道・スキー・水泳・ランニング・ピアノ・料理等を好んでおりますので、お声掛けください。



## 【新しく事務局長に就任された森和子氏の紹介】

会員の皆様 こんにちは！

この度、前任の鈴木潔様に代わり3月より一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会神奈川支部事務局の業務委託をお受けさせていただくことになりました「森和子(もりかずこ)」と申します。私の経歴など紹介させていただきます。

1976年3月武田薬品工業(株)(藤沢市)に入社し、2018年1月同社を定年退職しました。従事していた業務は「人事・環境・防災・福利厚生・安全衛生など」を担当してきました。中でも安全衛生業務は、数十年携わらせていただき、多くのことを学ばせていただきました。

定年退職後は「安全衛生のつながり」を頂戴し、2018年4月から2022年10月まで、(公社)神奈川労働安全衛生協会藤沢支部の事務局でお世話になりました。ここでの教育事業の実施開催にあたり、多くのコンサルタント(本支部事業部会会員)の皆様に大変お世話になりました。この場をお借りし改めて感謝とお礼を申し上げます。協会支部を退職後、しばらくフリーの時間を過ごしておりましたが、また「安全衛生のつながり」を頂戴し、こちらにお世話になることとなりました。本支部の事務局業務が全くわからず何かとご迷惑ご不便をおかけすることが多々あるかと思いますが、支部3役各位(吉久支部長様・赤松副支部長様・竹内副支部長様・藤原副支部長様)をはじめ、会員の皆さまのご指導ご協力を賜りながら、前に進んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 【支部会員の出版書籍の紹介】

神奈川支部の森山哲会員が、丸善出版より「第六版 大学講義技術者の倫理入門」を杉本泰治氏、福田隆文氏、高城重厚氏との共著にて、2024年2月に出版されましたので紹介します。本書では、技術者倫理を「科学技術」「法」「倫理」の三つの視点からとらえ、技術者の実務のあり方を、多様な事例を取り上げながら、社会的条件の西洋と日本の違いや、組織と個人における日本の実情をふまえて解説しています。私たち労働安全衛生コンサルタントには、守るべき倫理綱領と行動規範（支部のホームページにも掲載してあります）があります。コンサルタントの倫理についてとても参考になる書籍です。



## 【神奈川支部の近隣散歩 6 景】



横浜スタジアム



中華街



山下公園



日本郵船 氷川丸



横浜ベイブリッジ



大佛次郎記念館

## 《神奈川支部会員、事業部会員の皆様へのお願い》

知人・友人・後輩等の中で労働安全衛生コンサルタントの資格を有している方がおられましたら、是非、神奈川支部への入会、支部事業部会への入部の声掛けを、また、紹介情報でも結構ですので、よろしくお願いたします。

事業部会 部会長 藤原 政志

《編集後記》 今回の支部ニュース第48号は、支部長の挨拶、令和5年度の支部活動の報告と新入事業部会員の紹介、令和6年2月に退職された鈴木事務局長の後任の森和子氏の紹介等を掲載しました。また、支部会員の出版書籍についても紹介しました。昨年の5月にコロナウイルス感染症が第5類に移行し、支部活動もコロナ禍以前に戻ってきました。令和6年度は、神奈川支部の諸活動もより活発に展開できるものと期待しています。支部ニュースをよりよくするために多くの皆様からのご意見とご感想をお待ちしております。

(編集委員一同)